ボーリング柱状図

調査名	平成28年度 二級河川 本川水系 楠谷川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託（その２）
事業・工事名	

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	Ｂｏｒ．Ｎｏ．３	調査位置	竹原市竹原町			北緯	34° 20’ 16.7870″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			調査期間	平成 28年 10月 7日 ～ 28年 10月 14日	東経	132° 55’ 05.8111″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 36.25m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 34°	使用機種	試錐機	東邦Ｄ－1	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	5.00m								エンジン	ヤンマーＮＦＤ－１２	ポンプ	東邦ＢＧ－３

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1	35.00	1.25	1.25		砂質粘土	褐灰	中		粗砂を含有する粘土。表層20cmまで腐葉土。含水量は多い。1.25mまで木根を含む。	第四紀		1.15	7	12	20	39／30	39							
2	34.25	0.75	2.00		風化花崗岩	茶褐			粗粒花崗岩強風化土（砂質土）。指圧でオニマサ状に崩せる。	DM		1.45 2.15	16	20	14／5	50／25	60							10/12
3					風化花崗岩	茶褐			粗粒花崗岩強風化部（軟岩1）。風化が著しく、岩芯まで進んでいる。ハンマー軽打で砂状に崩せる。深度3.65～3.85mは風化が進んでいない（CL級）コアが認められる。上下部共に嚙み合わせがよく、風化残りと考えられる。	DH		2.40 3.05	36	14／4		50／14	107							
4	32.05	2.20	4.20									3.19 4.00	50／9			50／9	167							
5	31.25	0.80	5.00		風化花崗岩	灰褐			粗粒花崗岩強風化部（軟岩1）。コア長10cmの短柱状コア。割れ目沿いに風化が進行し、土砂化している。ハンマー打撃で割れ目周辺は礫状に砕ける。	CL		4.09												10/13
6																								
7																								
8																								
9																								